

天気にあわせた、きめ細やかな管理の徹底！

連休中の気温は平年並みに推移する予報。(気象庁、2週間気温予報、4/26更新時)。

育苗期間中は、こまめに温度を確認し、保温資材(低温時)、遮光資材(高温晴天時)等の活用や、ハウス開閉の調整で、天気にあわせた管理を徹底しましょう。

また、初期生育確保のために、健苗を適期に適正株数で田植えを行い、田植え後は、苗の状態にあわせた水管理で生育促進を図りましょう。

1 適切な育苗管理

育苗ハウス等の温度管理を徹底し、充実した丈夫な苗に仕上げましょう。

育苗後半の温度管理

- 徒長苗は、活着、分けつが遅れるため、苗を伸ばしすぎないように注意しましょう。
- 夜間の管理は、強い低温がない限りはハウスを開放し、外気に慣らして管理しましょう。

【育苗ステージごとの適切な温度と注意点】

	昼間	夜間	注意点
出芽時	30~32℃		○無加温出芽は出芽を揃えることが重要。 きめ細やかな管理を行う。
緑化期 (出芽後2~3日)	25℃	15℃	○外気温が25℃以上の日は要注意。 午前中の早い段階にハウスを開ける。 ○低温時には保温に努める。 ○翌朝に霜が予想される場合は夕方の早い段階にハウスを閉める。
緑化期以降	20~25℃	8℃以上	

育苗期の水管理

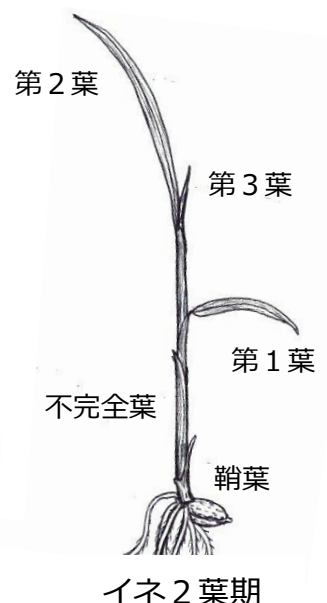
- かん水は午前中に**1回が基本です**。夕方のかん水は根張り不良となるため避けましょう。
- プール育苗では、1.5葉期からハウスを開放し、入水します(上限は床土の高さまで)。
2葉期以降は、常時湛水とします(箱の上1cm程度の水深、最大でも草丈の半分以下)。
苗が伸びやすくなるため、ハウス内の気温は低めに管理しましょう。

育苗期の追肥

- 適切に追肥を行い、苗の老化を防止しましょう。
- 育苗土に緩効性肥料(育苗一発肥料など)を使用した場合には、追肥は不要です。

【追肥の時期と追肥量の目安】

苗の種類	育苗期間	追肥時期	追肥量の目安
稚苗(2.5葉)	20~25日	1.8葉期	窒素成分が10%の液肥 1ℓに水を加え100ℓに希釈し(100倍希釈)、 1箱当たり1ℓを散布。
中苗(3.5葉)	30~35日	1回目:2.0葉期 2回目:3.0葉期	



育苗期間中の病害対策

○出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。
カビの発生や、苗の生育異常がみられる場合には、早めにご相談ください。

【育苗期間中に発生する病害と対策】

病原菌	主な症状	発生条件	発生抑制のポイント
フザリウム	白色～淡紅色のカビ	緑化期の 低温、湿度の 変動が大きい 時	○低温をさげ、適切な温度 を保つ ○過湿にしない
ピシウム	カビは見えない。 出芽後の芽、根の枯死、ムレ苗		
リゾープス	種子、芽の周辺に白いカビ、 根の褐変、葉の黄化	出芽時の 高温多湿	○33℃以上の高温、多湿に しない
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白化、 枯死、坪枯れ	高温、多湿	○高温、多湿にしない ○発生した場合は苗を処分

2 品種に応じた基肥

品種に応じた基肥量（窒素量）は、下表を目安に、良食味米生産に努めましょう。

【品種別の基肥量（窒素量）の目安】

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6

3 適期の田植えと適切な管理

田植えの適期は5月15日～20日頃です。【つや姫・雪若丸の田植えは5月20日まで】

田植え時の留意事項

- 田植え作業は、低温や強風の日をさげ、天候の良い日を選んで行いましょう。
- 栽植密度は70株/坪、株当たり4～5本を目安とします。
- 植付け深は3cm程度を基本とします。（深植えは分げつの発生を抑制します）
- 箱施用剤や除草剤は、ラベルを良く確認し、間違いのないように使用しましょう。

田植え後の水管理

- 田植え直後は、4～5cm程度の水深で活着を促進させます。活着後は、2～3cmの浅水管理とし、日中止水・夜間かんがいの保温的管理で、分げつの発生を促進させます。



春季農作業事故防止啓発運動 展開中！ トラクターの事故に要注意！

- 春先はトラクター運転で感覚が取り戻せておらず、操作ミスが原因の事故が多くなる時期です。焦らず、気もまず、計画的に作業を行いましょう。
- 安全確認と予防対策（ブレーキ連結等）で公道でのトラクターによる事故を防ぎましょう。